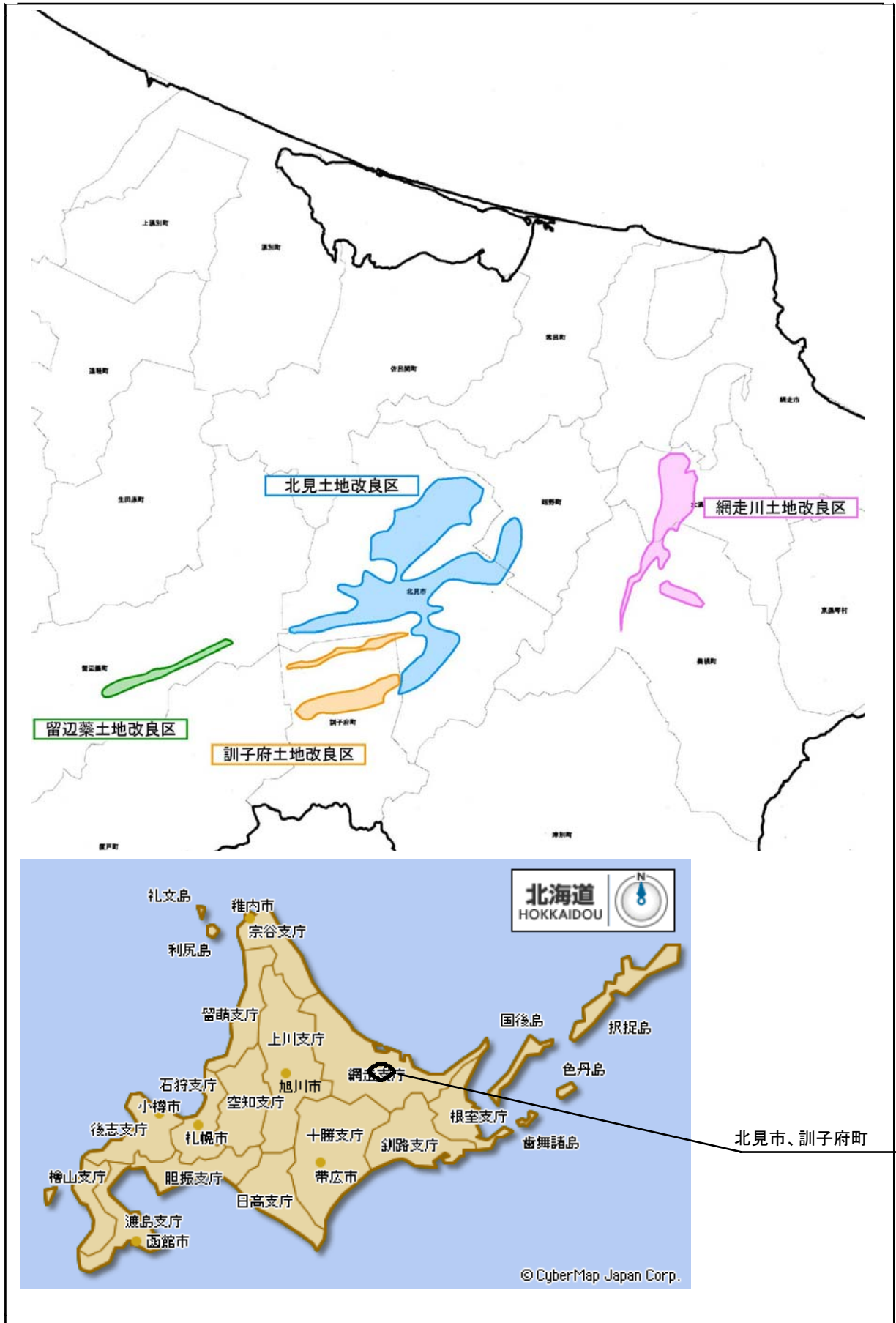


【位置図】



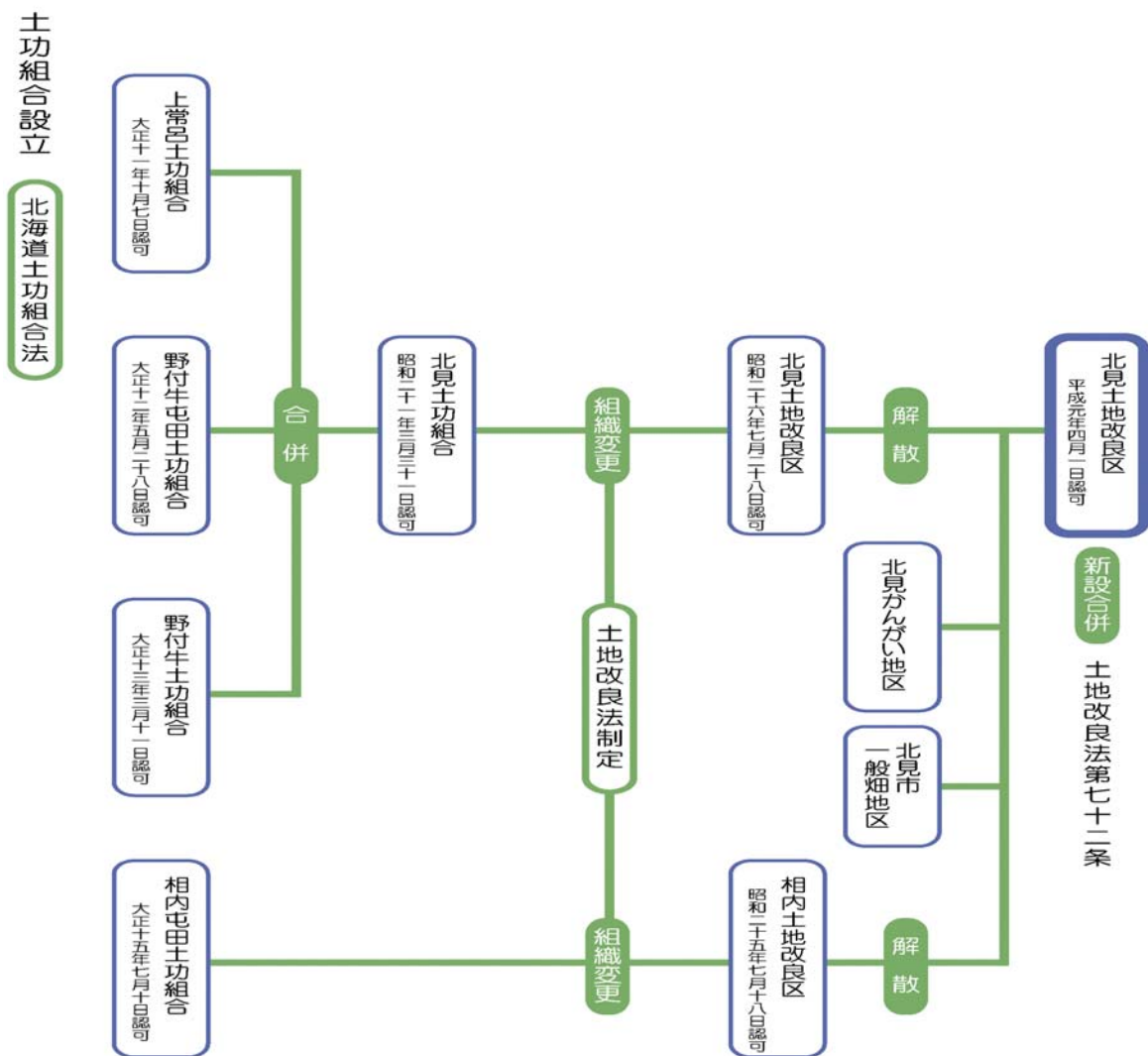
I 水土里ネットの概要

- ・水土里ネット名： 北 見
- ・理事長名： 吉田 幹雄
- ・役職員数：役員 12 名、職員 13 名
- ・住所： 北見市桜町2丁目95番地
- ・連絡先：電話 0157-23-7468
FAX 0157-23-7633
e-mail soumuka@kitatoti.knc.ne.jp
URL

※県や都道府県水土里ネットにある場合も記載してください。

- ・受益面積： 8.173 ha
- ・組合員数： 1,123 名
- ・水土里ネット設立の経緯：

土地改良区の変遷



※昭和26年の土地改良法制定以降の設立、合併等の経緯を記入願います。

水田かんがい施設

無加川第1頭首工
完成年度 昭和48年
幹線用水1条 2.09km
支線用水2条 2.04km

無加川第2頭首工
完成年度 昭和34年
幹線用水1条 2.82km

相内頭首工
完成年度 昭和62年
幹線用水1条 17.018km
支線用水31条 44.595km

常呂川第2頭首工

頭首工
5ヶ所

幹線用水路
58.368km

支線用水路
90.015km

畑地かんがい施設

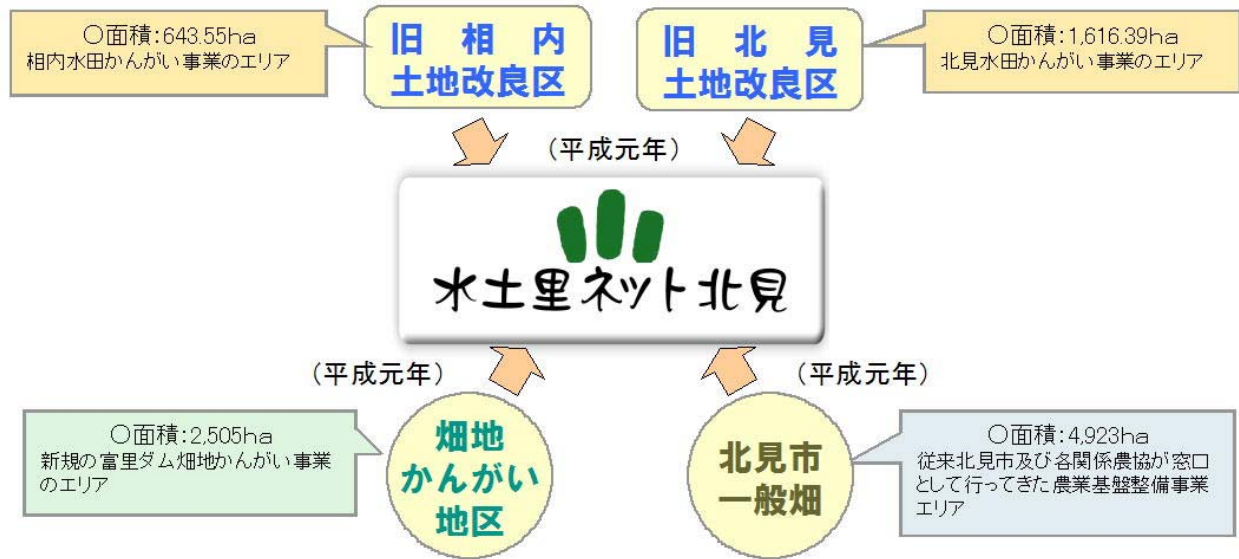
ダム	1ヶ所
ファームポンド	14ヶ所
パイプライン	121.7km

水土里ネット北見の沿革

当水土里ネットは、昭和60年に北海道の「土地改良区組織整備推進対策事業」モデル地区として、同一市内、同一水系であった北見土地改良区と相内土地改良区との間で合併協議が開始された。

同時に、北見市からの要請で、各組織の役割の明確化と、土地改良事業の窓口の一元化を図るため、北見市が新しく組織を設立する予定であった「畑地かんがい事業地区」と「畑地区」も合併協議に含んで検討した。

水土里ネットとしては、このような経過を踏まえ行政・各農業機関の役割を明確にした中で、地域農業の発展に寄与するため、新しい北見土地改良区として平成元年4月1日の合併認可をもって今日に至る。



(平成17年度)

地目	区分	地 区	地区地積(ha)	賦課地積(ha)	組合員戸数	賦課基準	決済基準
田	水 か ん	北見市	1,299.97	1,152.85	450	10a当り 3,900円	10a当り 66,000円
		端野町	637.25	592.71	133		
		訓子府町	14.09	12.39	2		
	合 計			1,951.31	1,757.95	585	
畑	畑かん	北見市	2,505.00	2,505.00	215	戸数割・給水栓数割	
	一 般 畑	北見市	2,436.53	2,436.53	578	免除	
		端野町	1,280.52	1,280.52	216	免除	
		小計	3,717.05	3,717.05	794		
	合 計			6,222.05	6,222.05	1,009	
総 合 計			8,173.36	7,980.00	1,594	実戸数 (1,123戸)	

農業農村整備事業

事業

北見市・端野町の地区で事業を実施しています。

事業名:道営担い手育成畑総事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					用水 _(m)	排水 _(m)	農道 _(m)	客土	心破	除穢	暗きよ	区画	農造	備考
南 東	平成9年～ 平成16年	60	363.70	1,805,000	11,980		2,961	91.2	144.3	1.3	115.5	51.5		
相 内	平成11年～ 平成16年	107	394.70	1,175,500		3,058		140.9	181.6	4.6	131.2	48.8	26.2	
常 川	平成12年～ 平成16年	60	235.00	1,003,000	15,285		838	106.6	79.5	1.8	121.8	0.8	7.5	
合 計		227	993.40	3,983,500	27,265	3,058	3,799	338.7	405.4	7.7	368.5	101.1	33.7	

事業名:道営担い手支援畑総事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					用水 _(m)	排水 _(m)	農道 _(m)	客土	心破	除穢	暗きよ	区画	農造	備考
端野三区	平成14年～ 平成18年	20	63.00	450,000		930	1,140	7.2			25.6	3.9	28.8	

事業名:道営経営体育成基盤整備事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					用水 _(m)	排水 _(m)	農道 _(m)	客土	心破	除穢	暗きよ	区画	農造	備考
端野	平成15年～ 平成19年	89	318.60	1,430,000		7,575		145.7		2.9	172.2	14.8	34.9	

○新規の事業(端野町)

事業名:道営担い手支援畑総事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					用水 _(m)	排水 _(m)	農道 _(m)	土層改良	暗きよ	区画	農造	備考		
端 野 上右岸	平成17年～ 平成21年	77	662.00	1,820,000		959		314.5	343.3	78.5	139.3			
端 野 下右岸	平成17年～ 平成21年	76	393.00	1,090,000		3,058		172.8	164.6	30.4	152.0			
合 計		153	1,055.00	2,910,000		4,017		487.3	507.9	108.9	291.3			

事業名:道営中山間総合事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					用水 _(m)	排水 _(m)	農道 _(m)	客土	ほ場整備	暗きよ	改良保全	農用地 開発	備考	
端 野 北 豊	平成17年～ 平成21年	21	862.00	460,000		930	1,140	80.0	8.1	77.5	99.2	29.0	活性化施設1棟	

○新規の事業(北見市)

事業名:道営担い手支援畑総事業

事業地区	事業期間	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	全体事業費 (千円)	事業量 (ha)									
					客土	心破	除穢	暗きよ	区画	土壌 改良	農地保全	農用地 造成	知かん 施設	備考
北見北	平成18年～ 平成23年	110	892.30	1,720,000	315.8	91.0	13.7	243.7	61.2	300.0	20.1	6.2	395.5	知かん 施設一 式

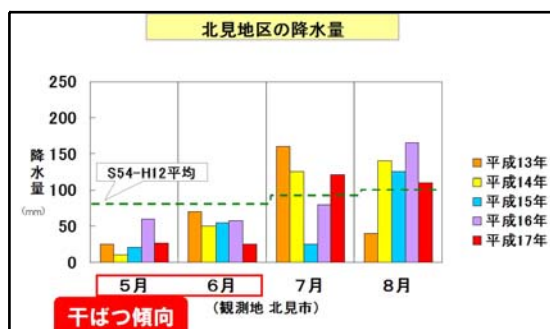
II 地域の特徴

水土里ネットが置かれている地域の状況が把握できるよう、地域の地理的概要、社会経済条件、歴史・伝統文化、景観・自然環境などを可能な限り詳しく記述してください。

1. 地域の地理的概要

当地域は、平成18年3月に北見市と端野町、常呂町、留辺蘂町が合併した北見市と訓子府町に位置し、網走支庁管内のほぼ中央に位置する。北見地域は、大雪山系を源とする常呂川流域に発達した肥沃な北見盆地と、盆地を取り囲む北西山地、南東丘陵地から構成され、10度以上の傾斜地が約50%以上を占める。地質の違いが地形の差として現れ、最も古いジュラ系堆積岩が露出する北西山地、ついで陸水成層で構成されている南東丘陵地、そしてこの二つの間に広がる海成層と火山灰層を中心とする盆地の三つに区分される。

気候は陸生気候で、年間の降水量も少なく、全国有数の日照時間を有するなど、北海道の東部に位置しながらも気候に恵まれている。しかしながら、夏の気温は30℃を超え、冬期の最低気温はマイナス20℃以下になるなど寒暖の差は大きい。



2. 社会経済条件

当地域の基幹産業である農業は、玉ねぎ、にんじん等の野菜や小麦、てん菜、ばれいしょを基幹作物とする畑作と、もち米を中心とした稲作、さらには酪農・畜産など、この地域の気象条件や立地条件をいかして多角的に展開されている。特に、玉ねぎは、畑地かんがい施設をはじめ大規模な生産基盤整備と大型機械等の導入で、日本一の生産量、出荷量を誇っている。



また、道東の中央に位置する当地域は、女満別空港からも車で30分という近さから、オホーツク観光のターミナルステーションの役割を果たしている。当地域は日帰り圏で、知床、阿寒、大雪、釧路、網走の5つの国立・国定公園に囲まれているほか、かつては世界市場の70%を占めた世界一のハッカ生産を紹介するハッカ記念館や、日本の地ビールのさきがけとなったオホーツクビールなど観光資源も豊富であり、観光も含めた道東ビジネスの拠点となっている。

3. 歴史・伝統文化

明治2年、蝦夷を北海道に改められて、この地方は北見国と定められた。明治30年、高知県で組織された北光社移民団と、北の防備と開拓を担った屯田兵が同時期に入植し、初めての行政機関である戸長役場が開設された。

明治34年頃に北見に持ち込まれた薄荷（ハッカ）草は、当地の自然条件に良く合い、商品価値も高かったことから作付が急速に広まった。昭和9年のハッカ工場の操業を機にハッカ油がアメリカへ初輸出され、これが高い評価を受けて、最盛期の14年頃には作付面積2500ha、世界市場の約70%を北見ハッカが占めるほどとなった。

しかし、30年代以降、安い外国産や人工合成製品の進出などで、他の農産物の10倍の収入と言われた換金作物ハッカは衰退の一途をたどり、ハッカの匂いが充満した大地はその姿を変え、58年にハッカ工場は閉鎖した。

一方で、北見における玉ねぎ栽培は大正6年の試作に始まり、当時としてはハッカが幅を利かせる中で、数人の農業者グループが敢えて開拓精神の発露とも言える新たな作物玉ねぎの導入に情熱を傾けた。以来、冷害、干ばつ、水害など幾度の災害に見舞われながら、栽培技術の確立と販売ルート開拓に奔走し、昭和5年には「玉葱販売組合」が設立されるなど、徐々に耕作面積は増加してきた。

特に、ハッカの衰退とともに農業者はハッカに代わるものとして玉ねぎ栽培に深い関心を示し、昭和29年に耕作者48名（耕作面積28.7ha）で「北見市玉葱生産組合（現・玉葱振興会）」が結成され、以降、研究・指導体制の確立などにより同市の本格的な玉ねぎ栽培が確立されていた。

また、大正期後半から農業者の水田への潜熱が徐々に噴出し、米の作付が急速に広がっていったが、昭和44年の米の生産調整を機に徐々に玉ねぎへと転作が進み、現在では転作率は70%を超えている。

このような背景を踏まえ、現在ではまさに日本一の玉ねぎ王国へと発展した。

4. 景観・自然環境

常呂川を中心に丘陵地帯の天然林などは自然が豊富で、水辺は動物や植物の繁殖地となっており、豊かな水ときれいな空気を育む森林は、ハイキングや動植物の生態系観察などに広く利用されており、市民も多方面で恵みを受けている。

特に、水土里ネット北見が管理する富里ダムは、美しい景観や歴史的な価値、人と自然とのふれあいなど地域に親しまれているダム湖として「ダム湖百選」に選定（全国69湖）されている。美しい湖と天然林などを生かし、生態系に配慮した親水・森林公園が整備され、人と自然とのふれあいの場、子どもたちの学習の場となっている。また、鳥獣保護区にも指定され、野鳥をはじめ生態系の保全にも貢献している。



また、当地域では、農業・農村の持つ豊かな自然・伝統文化など、日本人の原風景を形成してきた多面的機能を再評価し、都市と農村の共生をめざした美しく豊かな田園空間づくりを進める田園空間博物館整備事業「北見端野地区」が平成12年から16年で進められ、自然と人間が織りなしてきた農村の伝統文化や、農村に係わる地域資源「水」「土」「里」に視点を置き、「地域全体が博物館」として伝統的農業施設や美しい農村景観の保全・復元などを行っている。

※ここでは、地域の状況から21創造運動の取り組みへの背景などを探ります。

Ⅲ 2 1 創造運動の実績

平成17年度に実施した21創造運動の実績（活動数に応じて追加可）

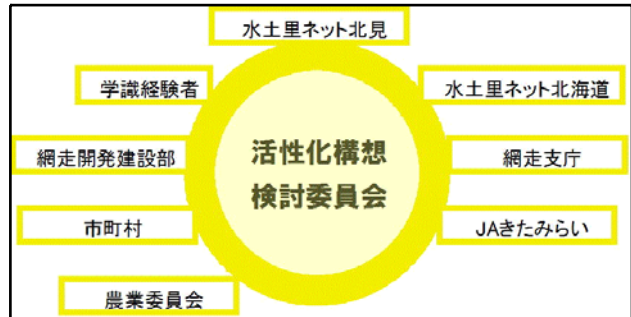
～21創造運動の理念を達成するためのどのような活動をしたか、また、活動の手法や取り組みの経緯（継続期間）、活動に係る経費（金額）とその財源、さらに活動の成果や地域住民の評価等の点も含めてアピールしたいことを活動毎に全て記述してください～

1. 内部運動

◆活動名：土地改良区活性化構想の策定

活動経費： 3,500千円（うち、千円、補助金、3,500千円（事業名：土地改良区総合強化対策）支援団体（ ）千円）

※構想策定は16年度



21創造運動の理念と活動体系（水土里ネット北見）



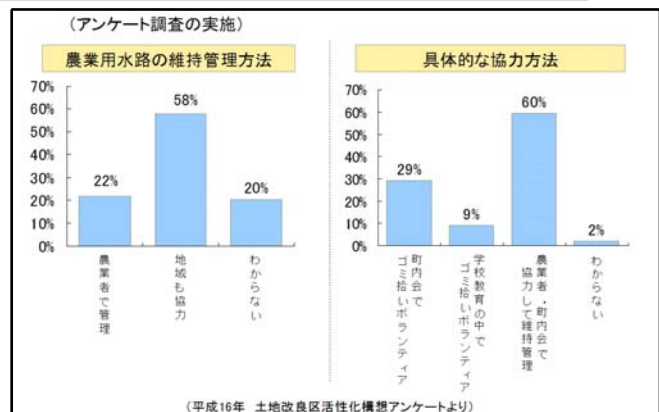
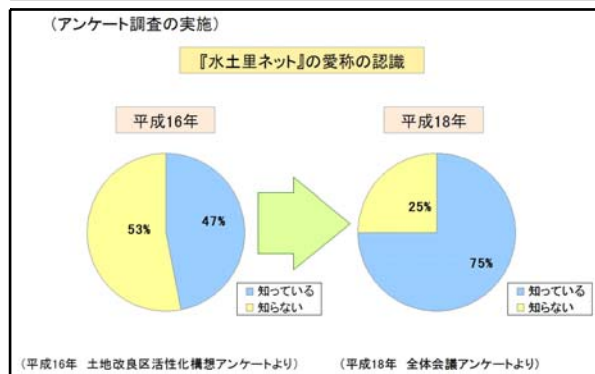
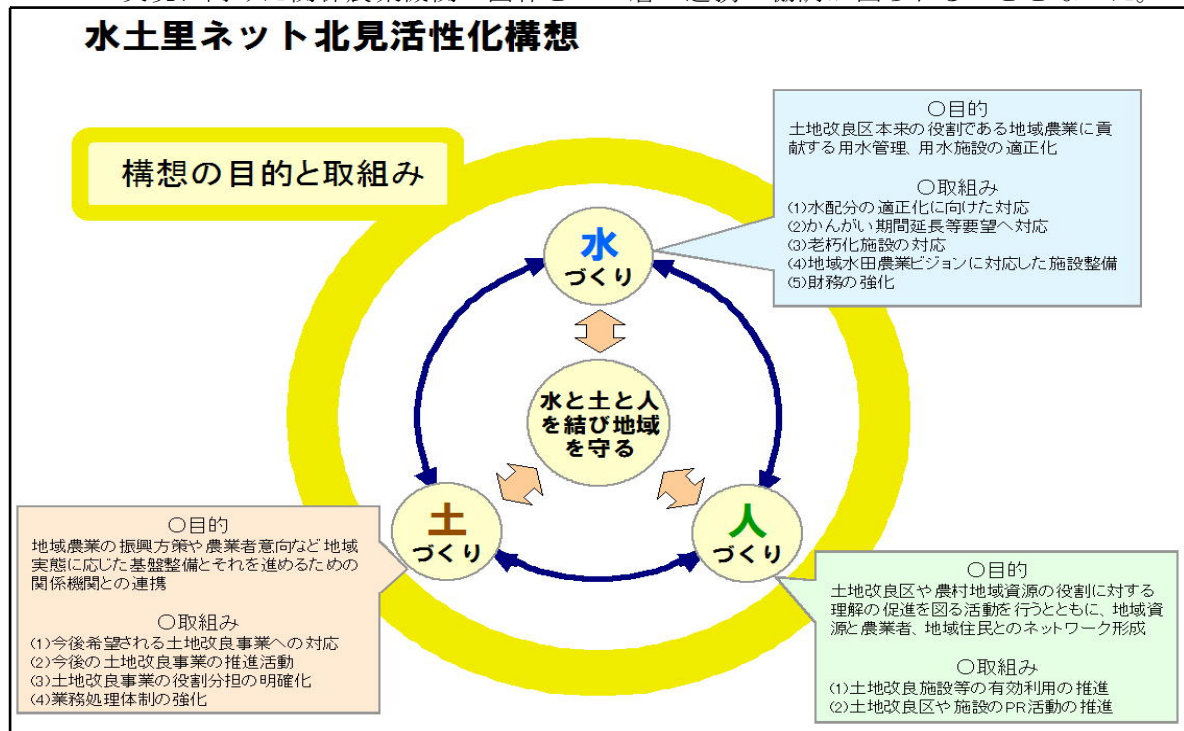
◇活動の内容と成果

地域農業・農村の活性化に向けての水土里ネットとして今後進むべき方向について検討するため、学識経験者や行政、農業関係団体等の参画を得て「活性化構想策定委員会」を設置。農業者をはじめ地域住民からのアンケート調査を実施するなど広く意見・要望、情報を収集しながら、「水と土と人を結び地域を守る」をテーマに水土里ネット北見活性化構想を平成17年3月に策定した。

この活性化構想では、農業の基本となる「水（農業用水・地域用水）」と「土（農地と土壌）」、「人（農業者と地域住民）」が手を携えて「地域（農村）」を守り、次世代へ引き継いでいくことを基本方針に掲げ、地域全体の農業基盤整備のあり方や農地・水など多様な資源の保全・活用について地域住民との一層の連携など水土里ネットの今後進むべき方向を定めた。

21 創造運動においては、これまでも各種活動に取り組んできたが、この活性化構想をベースに当水土里ネットの運動の基本理念、コンセプト、活動体系を明確にし、目的を持った活動が展開されることとなった。

また、役職員の水土里ネットの役割の再認識と、新たな機能・役割を担う共通認識の情勢、意識向上にもつながり、さらには水田の畑地化の推進、広域的総合水利調整など地域水田農業ビジョンの実現に向けた関係農業機関・団体との一層の連携・協調が図られることとなった。



◆活動名：水土里ネット役職員セミナーへの参加

活動経費： 旅費 200 千円（うち、水土里ネット 200 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

◇活動の内容と成果

水土里ネット北海道が主催する、21 創造運動等をテーマにした「水土里ネット役職員セミナー」に役職員が積極的に参加し、運動の取り組み意欲の向上と意識改革を図っている。特に、地域資源保全の取り組みに向けて、水土里ネットが果たす役割などについて再認識するほか、創造運動の先進事例が今後の当水土里ネットの取り組みの参考となっている。

※平成 17 年度水土里ネット役職員セミナー

- ・期 日： 平成 17 年 1 月 21 日
- ・場 所： 札幌市
- ・参加者： 全道の水土里ネットの役職員 280 名
- ・セミナーの主な内容 講 演 「水土里ネットと地域資源保全」
事例発表 平成 17 年度全国大賞受賞 水土里ネットしのつ中央
- ・当水土里ネットからの出席 理事長はじめ役職員 5 名

◆活動名：地域資源保全を踏まえた創造運動の展開等について検討

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

◇活動の内容と成果

役員会や総代会等において、資源保全施策を踏まえた 21 創造運動の取り組み等について検討を進めている。

◆活動名：愛称「水土里ネット」の普及

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

◇活動の内容と成果

各種会議での PR をはじめ、名刺、封筒、広報誌等の各種印刷物、事務所入口などには全て「水土里ネット」を使用するなど、愛称「水土里ネット」の組合員等への啓発普及を徹底し、地域農業者をはじめ行政、関係団体等にはかなり浸透してきている。

今後は対外的な PR にも重点をおき、地域資源保全活動などでも水土里ネットが積極的に参画し、啓発普及に努めることとしている。

◆活動名：農業用水、水土里ネットの PR パンフの作成・配布

活動経費： 50 千円（うち、水土里ネット 50 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

①組合員の意識向上・自己改革の推進

農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、地域資源の保全を積極的に担っていける組織をめざし、水土里ネット活性化構想をはじめ PR パンフを組合員に配布し、水土里ネットの役割、水土里ネットに期待される新たな役割・機能を担うための共通認識の醸成を図っている。このよ

うなことを背景に、特に当地域は水田の畑地化が大きく進んでいる中で、地域全体として農業用水の畑地かんがいや地域用水としての積極的な活用が進むとともに、地域資源の保全に向けた活動組織の立ち上げ、保全計画の策定などが具体化してきており、組合員の意識改革が大きく進んできている。

また、地域住民等に対しても、農業・農村や農業用水の多面的機能、農業農村整備事業や水土里ネットの役割などを紹介したPRパンフレットを、イベント等で広く配布するとともに、小学校の総合学習などでも活用している。



2. 外部運動

◆活動名：いもほり体験会の開催 S63～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名： ）支援団体（ ） 千円）

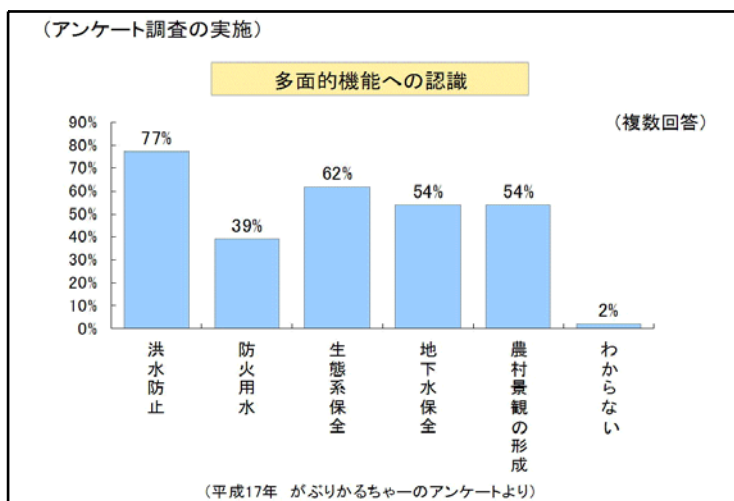
活動主体：行政、水土里ネットなどの農業団体、商工会などで構成する「がぶりかるちゃー」主催

◇活動の内容と成果

一般市民に食と農の大切さを知ってもらおうと、関係機関や団体が連携して都市と農村の交流活動「いも掘り体験会」を開催。水土里ネットでは、パネルで農業用水の多面的機能、農地・農業用水等の資源保全の重要性などを紹介するほか、パンフレット、水土里ネットPRティッシュ等を配布し、啓発普及に努めている。昭和63年から継続して行っており、ここ数年人気のある「いも掘り体験」を実施している（以前はにんじん、玉ねぎ等の収穫や、そば打ち体験など実施）。リピーターも多く年々参加者も増え、恒例の地域イベントとして定着してきている。

（平成17年度）

- ・期 日：平成17年8月7日
- ・参加者：北見市近郊の家族連れ約700名



◆活動名：「カレーライスマラソン」の開催 H14～

活動経費： 50千円（うち、水土里ネット 50千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：北見市や水土里ネット、JA等で構成する「たんのカレーライスマラソン実行委員会」が主催。

◇活動の内容と成果

地元の食材をPRするとともに、楽しみながら農に触れてもらおうと、昭和61年9月より「たんのカレーライスマラソン」が実施されている。平成14年から水土里ネットも実行委員として参画、関係機関や団体と連携して地域農業・農村をPRしている。

カレーライスマラソンは、4人1組のチームで、ニンジン、ジャガイモ、タマネギ、肉の各コースに分かれて食材を求めて走り、ゴールしたあとはチームごとに自分たちでカレーを作って楽しく食べるというユニークなイベント。年々参加者も増え、全道各地から参加の応募があり、地域の一大イベントとして定着した。



（平成17年度）

- ・期 日：平成17年9月18日
- ・参加者：全道から1000名

◆活動名：ウォーキング「でっかいどうオホーツクマーチ」に協力 H17～

活動経費： 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：北見市や網走市、日本ウォーキング協会などで構成する実行委員会が主催。

◇活動の内容と成果

日本ウォーキング協会などが主催するウォーキング大会「でっかいどうオホーツクマーチ」で、従来は国道横断のコースがありウォーカーの安全を考え、水土里ネットが管理する用水路沿いの遊歩道、管理道路を大会コースに入れてもらうよう関係機関に提案、その結果、北見の田園を歩くコース（「タマネギ・小麦畑や水田を横目にハッカの大地を満喫」40km・20km・10kmの3コース）が設定された。農業用水や水土里ネットをPRするためののぼりが立った中を、参加者が農業用水等を見ながらウォーキングを楽しんだ。



（平成17年度）

- ・期 日：平成17年6月11日、12日
- ・参加者：全国から約2000名

◆活動名：地域農業者グループの農業体験会に協力 H17～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：地域農業者等グループ「小泉食農体験団」

◇活動の内容と成果

子どもたちや一般消費者に食と農の大切さを知ってもらおうと、地域農業者や栄養士などで構成するグループ「小泉食農体験団」が広く参加を呼びかけて実施している農業体験会に協力。農作業の指導等担当。同時に、農業に欠かせない農地や農業用水の重要性、水土里ネットの役割、田んぼの水はどこから流れてくるのか、などについて、パンフレットなど資料を配付して説明した。

水土里ネットでは、これらの活動を通じてグループとの連携を図り、今後は地域における農地・農業用水等の資源保全活動につなげていくこととしている。



（平成17年度）

- ・期 日：平成17年6月11日
- ・参加者：地域の親子連れなど30名が参加

◆活動名：ダム管理用地への植樹、清掃活動（地域住民等との連携） H13～

活動経費： 50千円（うち、水土里ネット 50千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、地域住民、建設業者など

◇活動の内容と成果

環境・景観保全活動の一環で、当水土里ネットが管理する富里ダムの建設に係わった関係者をはじめ地域住民などにも参加を呼びかけて、ダム管理用地に整備された公園等にも、周辺の山に自生している同種類のヤマモミジの植樹やゴミ拾いなどを定期的に行うなど、ダム周辺の環境整備の取り組んでいる。

このような取り組みから、富里ダムは、平成17年に、財団法人ダム水源地環境整備センターが主催する「ダム湖百選」に選定（全国で65湖）されており、関係者から高い評価を得ている。



ダム湖百選

美しい景観や歴史的な価値、人と自然とのふれあいなど地域に親しまれているダムを認定。広く地域の人々に親しまれ、地域のとってかけがえのないダム湖を選定、顕彰することによって、国民の関心が高まり、地域の活性化に役立てようとするもの。

◆活動名：ダム湖百選認定「富里ダム」の景観等保全活動 H13～

活動経費： — 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、北見市

◇活動の内容と成果

地域住民の憩いの場として従来から親しまれていた富里ダムが、平成17年に、財団法人ダム水源地環境整備センターが主催する「ダム湖百選」に選定（全国で65湖）された。

このことから、以前にも増して、美しい景観や、人と自然とのふれあいなど地域に親しまれるダムを目指して、北見市と連携して保全活動に取り組んでいる。

草刈り、清掃の徹底をはじめ、キャンプ場周辺の景観保全、植樹・植栽活動など、広く地域の人々に親しまれ、地域の活性化に役立つダムを目指している。



◆活動名：用水路敷地を地域住民に開放 H元年～

活動経費： — 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

住宅地を流れる用水路敷地約50aを開放し、地先の一般市民30人が家庭菜園などに利用している。

利用にあたっては水土里ネットと地域住民がルールを決めるなどして、農業者以外の地域住民との交流も図られている。



ルール

1. 用水路で転落やケガの無いように十分に注意してください。
2. 用水路にゴミを捨てないようにしてください。
3. 定期的に周辺の草刈りをお願いします。
4. 栽培する区画についてはお互い譲り合ってください。

◆活動名：農業用水の防火用水としての活用推進 H6～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、北見市

◇活動の内容と成果

農業用水の防火用水機能増進を図るため、北見市などと連携し地区内の用排水路や畑地かんがい給水栓の位置図を消防署に提供し、消火栓として対処できる箇所の増加に向けて協議を進めているほか、消火訓練にも活用している。

特に、畑地かんがい給水栓からの防火用水の利用にあたっては、消防のホース吸水口にジョイント機具を付けることによって敏速に畑地かんがい給水口に取り付け可能となっているほか、水圧もあることから、過去4件（平成6年、7年、9年、15年）の消火活動にも大きな効果を上げている。



畑地かんがい給水栓を
消火に利用

◆活動名：頭首工管理橋を市民の歩行者通路に活用 H10～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

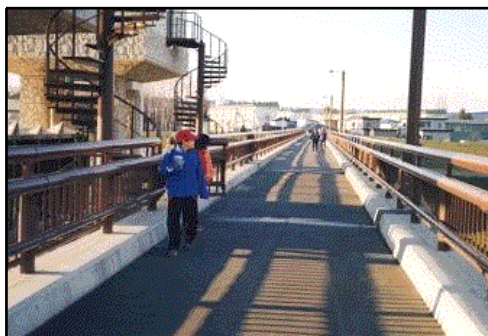
活動主体：水土里ネット北見、北見市

◇活動の内容と成果

北見市と連携して、水土里ネットが管理している常呂川第2頭首工の管理橋の手すりを高く（通常70cmを120cmにしている）することによって一般市民の自転車、歩行者通路として活用。子どもたちの通学路にもなっており、1日約150人程の市民が利用している。

特に、監視カメラや通学時巡回を行うなど安全対策の徹底を図っており、市民から好評を得ている。

この歩行者通路としての活用は、地域住民からの要望で実現したもので、維持管理、補修、安全対策等については北見市と協議しながら、適正管理に努めている。



◆活動名：JICAの農業研修に協力 H14～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：JICA

◇活動の内容と成果

国際協力事業団（JICA）の研修活動に協力して、中央アジア「水利組合」などの現地研修を受け入れしている。

平成17年度は、キルギスタンの政府、農業関係者を受け入れ、畑地かんがいや地域用水としての農業用水の活用、水管理体制、地域農業・農村における水土里ネットの役割、北見地域農業の歴史などを紹介した。



◆活動名：小学校の総合学習「田んぼの学校」開催 H14～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、小学校

◇活動の内容と成果

子どもたちに農業体験を通じて食の農の大切さなどを理解してもらおうと、北見市内の小学校の総合学習「田んぼの学校」を開催。組合員に田んぼの一部を提供してもらうなど全面的に協力している。

水土里ネットが市内の小学校に、総合学習のメニューとして「田んぼの学校」を提案し、実現したもの。学習田の準備や農作業などは組合員の協力を得て、田植えや稲刈り体験などを実施している。

北見市立相内小学校は平成14年から継続して全学年を対象に田植え、稲刈り体験を実施しているほか、平成17年度からは同東相内小学校5年生、同上常呂小学校全学年の総合学習も開催している。

以来、学校やPTAからも継続的な実施の依頼を受けており、18年度の田んぼの学校では、父母の参加・協力も得ている。



◆活動名：子ども絵画展の作品募集を通じた小学校との交流 H14～

活動経費： 30千円（うち、水土里ネット 30千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

田んぼの学校などの協力を通じて、全国水土里ネットが主催する「田んぼと水 子ども絵画展」の作品募集を行い、学校や子どもたちとの一層の交流促進を図っている。

平成17年度は、相内小学校から25点の応募があり、水土里ネット事務所に掲示したほか、理事長賞を選び、児童を表彰した。

このように、田んぼの学校、施設見学会、絵画展などを通して、学校や子どもたち、さらにはPTAとの交流が図られ、地域においては水土里ネットの認知度が高まっている。



◆活動名：小学校の社会科見学「農業水利施設見学会」開催 H14～

活動経費： 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、小学校

◇活動の内容と成果

田んぼの学校などを通じた小学校との交流をきっかけに、学校から社会科見学の受入・協力の要請があり、水土里ネットでは平成14年から相内小学校5年生の社会科見学で、水土里ネットが管理するダムや頭首工に子どもたちを案内し、農業用水や農業水利施設の役割などを紹介している。

特に、ダム湖百選にも選ばれた富里ダムは市民の憩いの場として整備されていることから、社会科見学で訪れた子どもたちがリピーターとなり、休日には家族連れで来るなど、自然とふれあう、地域に親しまれているダムのPRにもつながっている。

平成18年度からは、田んぼの学校に参加している東相内小学校、上常呂小学校からの協力依頼もあり、積極的に受け入れることとしている。



◆活動名：工業高校の構造物見学実習を開催 H2～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、高校

◇活動の内容と成果

平成2年度から、道立北見工業高校の構造物見学実習を開催。毎年、建設科1年生を富里ダムに案内し、水土里ネットの職員がダムの構造、施設の目的、水管理体制などを説明している。



◆活動名：農業用水等を活用した遊歩道、親水公園等の整備推進 H8～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見、北見市

◇活動の内容と成果

地域住民の安全対策として進められている用水路の暗渠化に伴う用地等を利用して、国等の事業を活用しながら、地域の憩いの場となる遊歩道や親水公園を整備。この整備にあたっては、北見市4名、地域住民代表8名（関係8町内会）、水土里ネット2名でワークショップを開き地域住民の意見や要望、アイデアを反映させている。遊歩道は市民のジョギングコースや散歩道として、また、親水公園は子どもたちの遊び場として地域住民から好評を得ている。

通常の公園の維持管理は、水土里ネットと市が中心に行っているが、年2回（6月、8月）ワークショップに参加した8町内会も参加して花壇の手入れや清掃作業を実施している。



◆活動名：田園空間博物館の保全活動 H12～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：国、道、北見市、水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

当地域では、農業・農村の持つ豊かな自然・伝統文化など、日本人の原風景を形成してきた多面的機能を再評価し、都市と農村の共生をめざした美しく豊かな田園空間づくりを進める田園空間博物館整備事業「北見端野地区」が平成12年から16年で進められ、自然と人間が織りなしてきた農村の伝統文化や、農村に係わる地域資源「水」「土」「里」に視点を置き、「地域全体が博物館」として伝統的農業施設や美しい農村景観の保全・復元などを行っている。

水土里ネットとしても田園空間博物館整備委員会に参画するなど当博物館整備事業を積極的に推進し、整備内容・整備水準、施設の維持管理体制、地域住民参加活動など博物館構想の策定に深く関わってきた。

「かがやく太陽、かおる大地（開拓者の英知と努力、原野からの田園）」をテーマに、地域の歴史的な背景や農業・産業の概要などを東西32km、南北33km、総面積586平方kmのエリアで20を超える地域の資源を拠点として展示している。このうち、当水土里ネットとして大きな関わりのあるものとして、仁頃川上流の畑地かんがい用の富里ダムは、周辺がキャンプ場とハイキングコースに整備され、冬期間はワカサギ釣りなどが楽しめる「富里湖森林公園」となっている。また、常呂川は、田園空間博物館を構成する源であり、農業用水の供給など地域農業にとってもかけがえのないものとなっている。

今後は、博物館として整備されたこの地域の豊かな自然環境や美しい景観、伝統文化を多くの人たちに触れてもらうため、北見市など関係機関・団体と連携しながら「魅力ある田園空間支援事業」等を活用し、ポータルサイトの開設やシンポジウムの開催など一層の情報発信、啓発を行うこととしている。

◆活動名：農業用水の広域的総合水利調整の推進 H17～

活動経費： ー 千円（うち、水土里ネット 千円、補助金、 千円（事業名：
）支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見および近隣水土里ネットが主体、農業関係機関、団体

◇活動の内容と成果

水田の畑地化が進む中で、効率的・効果的な農業用水の活用、既設農業水利施設の有効活用等を検討するため、河川管理者の指導のもと水土里ネット北見が中心となって、近隣の水土里ネット訓子府、水土里ネット留辺蘂、さらには、行政、JAなどにも参画を呼びかけて、常呂川水系水利再編検討会を設置。畑地かんがいの広域的な取り組みなど総合的な水利調整の検討を進めている。

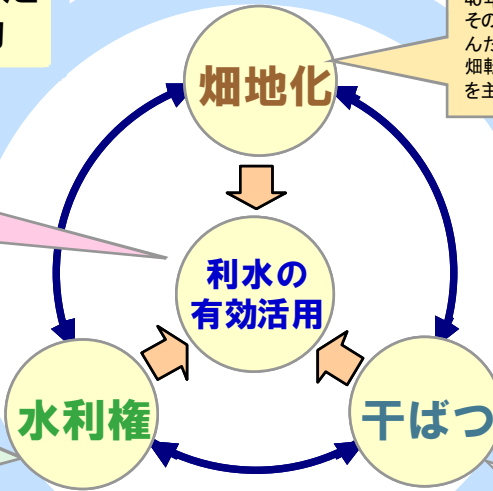
特に、この地域は、タマネギの生産で畑地かんがいの効果が大きく現れていることから、農業者も安定的な畑地かんがいの整備を望む声も大きく、タマネギ以外の作物へのかんがい効果なども関係機関などが連携して試験研究を進めている。

(畑地かんがい等農業用水の広域的総合水利調整の推進)

常呂川水系の現状と水利再編の目的

○再編の目的
水田水利権の有効活用により畑地かんがい用水を確保し農業経営の安定化を図る為、水利再編に向けた検討が必要である。

○農業用水
地域には水田用水の取水を目的とした水利権(頭首工)がある。しかし畑地化が進んだ現在ではこの水利権の有効活用が必要となっている。



○営農
地域の農業はかつて水田地帯として拓け昭和40年代半ばに水田作付けがピークとなった。その後、水田再編等の施策により畑転換が進んだ。畑転換された地域では、たまねぎ等の野菜類を主体とした営農を展開している。

○気候
本地域の土壌は、砂礫質及び火山灰性土壌で保水力に乏しく、加えて農耕期の平均雨量が少なく、野菜を主とする収量・品質の安定化が図られていない。近年、干ばつ傾向が強い。

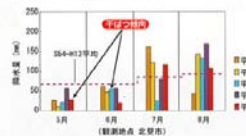
常呂川水系の「水利再編整備」が、流域の畑地かんがいを可能にします。

「常呂川水系の水利」を有効活用しましょう。

常呂川の流域では、水田から畑地への転換が進み、既得水田水利権量の約1/2程度の水量しか利用していない状況です。この既得の水田水利権を畑地かんがい用水として利用できれば、作物の増収が見込まれ、安定した農業経営につながります。

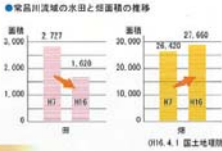
北見地域の降水量～畑地の水不足～

近年、北見地域は農耕期の降水量が少なく、特に5月・6月の干ばつ傾向が続いているため、畑地かんがいのための安定した確保が必要となっています。



常呂川水系の営農種別

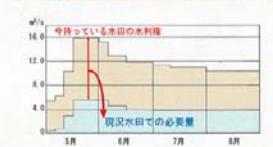
常呂川流域の農地は営農が多くを占めています。畑地かんがいの水及び施設の数が増えています。



常呂川の流量～新たな水源の確保は困難～

常呂川の流量は高水傾向にあり、経路に利水を確保することは難しい状況です。このため、既得の水利権を利用した水利再編整備が必要です。

水利権の現状～このままでは、水利権がなくなる～



畑地かんがいの降水量が確保されています。この水を有効的に利用することが可能です。



すでに整備が完了している北見地区
国家複合地帯総合土地改良パイロット事業北見地区(昭和45年～平成24年)によって、畑地かんがいの施設の数が増えました。これにより、きりぎりすなどの高収量作物が増えられ、地域農業の経営改善に大きく貢献しました。
収量の比率
6.54t/10a
1.69t/10a
「かん水あり」が10aあたりコンテナ2分の増量が見られた
(平成24年) (平成27年)

◆活動名：北見市農業振興計画の検討（農業振興計画策定委員会への参画） H12～

活動経費： 50千円（うち、水土里ネット50千円、補助金、 千円（事業名： ） 支援団体（ ） 千円）

活動主体：北見市・農業関係機関・水土里ネット等団体で構成する「北見市農業振興計画策定委員会」

◇活動の内容と成果

北見市をはじめとする農業関係機関・団体で構成する「北見市農業振興計画策定委員会」に当水土里ネットも参画し、地域農政の指針となる農業振興計画の策定や目標達成に向けての検討を進めている。

現在は、平成12年度を基準年とし18年度を目標年度として策定された第3次農業振興計画の達成に向けて、取り組み状況や直面する課題などを検討している。

水土里ネットでは、この振興計画や地域水田農業ビジョンにそって、「水田農業構造改革対策」における「畑地化推進事業」の活用を図りながら、畑地化の本作化を推進しており、経営体育成基盤整備事業や畑地帯総合整備事業などにより水田の汎用化、畑地化、畑地かんがい整備などを進めている。

◆活動名：ダム湖百選認定「富里ダム」のPR活動 H17～

活動経費： 50千円（うち、水土里ネット50千円、補助金、 千円（事業名： ） 支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

平成17年に、財団法人ダム水源地環境整備センターが主催する「ダム湖百選」に選定（全国で65湖）されたことから、新聞等で広く情報発信したほか、認定プレートをダムに掲示し、訪れる人々にPRしている。

最近では、キャンプ場やワカサギ釣りなどダムを訪れる人が増え、さらには当ダムが農業用水施設としての役割について今まで以上に理解が浸透するなど、地域にとってかけがえのないダム湖として地域住民の関心が高まった。



◆活動名：副読本「こちら農村探偵クラブ」を小学校に配布

活動経費： 50千円（うち、水土里ネット50千円、補助金、 千円（事業名： ） 支援団体（ ） 千円）

活動主体：水土里ネット北見

◇活動の内容と成果

全国水土里ネット発行の「こちら農村探偵クラブ」を北見市内全小学校に配布し、総合学習の手引きとしての活用を促している。

これらのことから、小学校との交流が生まれ、総合学習「田んぼの学校」に取り組むきっかけづくりとなっている。



(これまでの配布)

平成15年度 北見市立三輪小学校 10部

平成16年度 北見市及び端野町教育委員会 400部

平成17年度 北見市立相内小学校、小泉食農体験団 50部

※取り組んでいる活動全てを記述してください。個々の活動について具体的な手法や成果、経費について詳しく記入願います。ここでの記述が審査に大きく影響します。文章の内容を補うための説明資料については、パワーポイント等で別途作成し、理解が進むように工夫願います。

IV 2.1 創造運動の取り組み体制

1 水土里ネット役員の2.1創造運動に対する意識

～該当する□を■に置き換えてください。～

水土里ネット役員の意識が改革され、運動を積極的に推進している

具体的な内容

地域農業・農村の活性化に向けての水土里ネットとして今後進むべき方向について検討するため、学識経験者や行政、農業関係団体等の参画を得て「活性化構想策定委員会」を設置。農業者をはじめ地域住民からのアンケート調査を実施するなど広く意見・要望、情報を収集しながら、「水と土と人を結び地域を守る」をテーマに水土里ネット北見活性化構想を平成17年3月に策定。当水土里ネットの創造運動においても、組合員へのこの構想の理解促進を図るとともに、地域住民など多様な人々との連携のもと、役職員一丸となって構想の実現を目指している。

また、役員会や総代会等において、資源保全施策を踏まえた2.1創造運動の取り組み等について検討を進め、特に、資源保全施策が円滑に取り組めるよう多様な参画を促すため、創造運動等を通じて広く理解の促進を図るべく、各種会議など機会を捉えては役員、総代、組合員等の運動意欲の向上、意識改革を図っている。

このようなことを背景に、特に当地域は水田の畑地化が大きく進んでいる中で、地域全体として農業用水の畑地かんがいや地域用水としての積極的な活用が進むとともに、地域資源の保全に向けた活動組織の立ち上げ、保全計画の策定などが具体化してきており、組合員の意識改革が大きく進んできている。

水土里ネット役員の意識が徐々に変わり始めている

具体的な内容： -----

まだ変わっていない

具体的な内容： -----

※ここでは役員の意識改革（内部運動の成果）の状況を確認します。

2 水土里ネット職員等の21創造運動に対する意識

～該当する□を■に置き換えてください。職員のない水土里ネットでは、配水係等の係員について回答します。～

■水土里ネット職員等の意識が改革され、運動に積極的に取り組んでいる

具体的な内容

水土里ネットの今後の進むべき方向をまとめた「土地改良区活性化構想」をベースに、水土里ネット北見としての21創造運動に対する理念、活動体系を明確にし、役職員をはじめ組合員にも周知させ、組織一丸となった活動を展開している。

特に、水田かんがいと畑地かんがいが混在する8千haという広範囲な地域を管理する当水土里ネットのこれらの活動に当たっては、18の水田かんがい水利組合と9の畑地かんがい水利組合の計27の水利組合が根幹となってネットワークを形成し、地域が一体となった農地・農業用水等の地域資源の維持保全や農業・農村の多面的機能発揮など創造運動推進のシステムが機能している。

また、農地・農業用水等の資源保全等をテーマとしたセミナーや各種会議等に積極的に参加するとともに、役員と連携を図りながら、地域の資源保全の問題点や課題、自分たちの地域で何ができるか、地域住民等に対してどのような協力を求めることができるかーなど活性化構想の実現にむけた具体的な活動、検討に取り組んでいる。

このように、水土里ネット自身が「水」「土」「里」を守り育む組織としての役割を再認識するとともに、地域が期待する農業・農村の多面的機能を支える組織、地域の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていきける組織を目指し、関係市町村はもとより関係機関・団体と連携を図りながら、役職員一丸となって創造運動等に取り組んでいる。

□水土里ネット職員等の意識が徐々に変わり始めている

具体的な内容： -----

□まだ変わっていない

具体的な内容： -----

※組織としての取り組みについて確認します。役員だけでなく、職員等が創造運動の必要性を認識して取り組んでいるか確認します。より具体的にその状況を記述してください

3 21創造運動の担当部署について

～該当する□を■に置き換えてください。～

□21創造運動を実践していくため水土里ネット内に担当部署を設けている

担当部署： _____ (_____ 人)

リーダーの役職・氏名等： _____

■特に担当部署は設けていないが、組織（役職員）として取り組んでいる

※職員体制13名という中で、特に担当部署は設けておらず、組織一丸となって取り組んでいる。

理事長を中心に、役員、各水利組合の長をリーダーとして、関係機関、団体、地域住民などに積極的に理解、参加を求め、それぞれの地域の情報交換などを通じて広くネットワーク化している。

職員はいないが、役員が中心となって取り組んでいる

その他： -----

※取り組み体制の実態を評価するものです。また、リーダーについては活動を牽引する者について確認します。

4 運動の継続に向けた人材育成や体制

水土里ネット北海道が主催する、21創造運動等をテーマにした「水土里ネット役職員セミナー」に役職員が積極的に参加し、運動の取り組み意欲の向上と意識改革を図っている。特に、地域資源保全の取り組みに向けて、水土里ネットが果たす役割などについて再認識するほか、創造運動の先進事例が今後の当水土里ネットの取り組みの参考となっている。

今後の水土里ネットの新たな役割の発揮等に向けては、地域農業・農村の活性化に向けての水土里ネットとして今後進むべき方向について検討するため、学識経験者や行政、農業関係団体等の参画を得て「活性化構想策定委員会」を設置。農業者をはじめ地域住民からのアンケート調査を実施するなど広く意見・要望、情報を収集しながら、「水と土と人を結び地域を守る」をテーマに水土里ネット北見活性化構想を平成17年3月に策定。当水土里ネットの創造運動においても、組合員へのこの構想の理解促進を図るとともに、地域住民など多様な人々との連携のもと、役職員一丸となって構想の実現を目指している。

また、役員会や総代会、水利組合長会議等においては、資源保全施策を踏まえた21創造運動の取り組み等について検討を進めている。特に、同施策が円滑に取り組めるよう多様な参画を促すため、創造運動等を通じて広く理解の促進を図るべく、各種会議など機会を捉えては役員、総代、組合員等の運動意欲の向上、意識改革を図っている。

※運動の継続性が求められています。それに向けた人材育成の状況や組織全体としての取り組み体制について記述してください。

5 21創造運動の水土里ネット組合員の理解度（複数回答可）

～該当する□を■に置き換えてください。～

運動に対する十分な協力体制が確立されている

運動に対する十分な理解度がある

運動に対する十分な参加がある

運動に対する協力体制が徐々に向上している

運動に対する理解度が徐々に向上している

運動に対する参加度合いが徐々に向上している

運動に対する協力体制、理解度などはまだ変わっていない

具体的な内容

水土里ネットの新たな役割の発揮などに向けて策定した「土地改良区活性化構想」は全組合員に周知徹底し、構想実現のためにも創造運動展開の必要性は十分に浸透している。

特に、当地域が水田農業から畑地農業へと大きな転換を迎えている中で、組合員が、畑地かんがいや地域用水としての農業用水の多面的利用の要望が強く、地域一帯となって総合的な農業用水再編の検討を進めている。

また、各地域では水利組合の長が中心となって地域資源保全に向けた意識向上が図られてきており、活動組織の立ち上げに向けて多様な参画を呼びかけながら、組合員も積極的に打合せに参画し資源保全計画策定に向けた検討が進められている。

各種イベントや小学校の総合学習「田んぼの学校」では、組合員の積極的な協力も得られており、さらには、地域全体を田園空間博物館として保全していく意識が向上してきている。

6 21 創造運動を实践するための水土里ネットを中心とした、もしくは参加した活動組織（団体等）がある場合

○組織名（団体名）：北見土地改良区活性化構想検討委員会

組織構成：水土里ネット、学識経験者、関係機関、団体等

- ・主な活動内容：水土里ネットの今後進むべき方向の検討等
- ・組織（団体）との関わり：水土里ネットが企画し、事務局として会を運営

○組織名（団体名）：北見がぶりがかるチャー

組織構成：行政、水土里ネットなど農業団体、商工会など

- ・主な活動内容：農業体験会の開催
- ・組織（団体）との関わり：構成員として会の運営と行事を実施

○組織名（団体名）：カレーライスマラソン実行委員会

組織構成：行政、水土里ネットなど農業団体、商工会など

- ・主な活動内容：カレーライスマラソンの開催
- ・組織（団体）との関わり：構成員として会の運営と行事を実施

○組織名（団体名）：小泉食農体験団

組織構成：農業者、栄養士、地域住民など

- ・主な活動内容：農業体験会の開催
- ・組織（団体）との関わり：農業体験会に協力

○組織名（団体名）：富里ダムを守る会

組織構成：水土里ネット、行政、地域住民、建設業者など

- ・主な活動内容：富里ダムの植樹、植栽、清掃活動
- ・組織（団体）との関わり：水土里ネットが企画し、事務局として会を運営

○組織名（団体名）：北見端野地区田園空間博物館整備委員会

組織構成：学識経験者、行政、水土里ネットなど農業関係団体、地域住民など

- ・主な活動内容：田園空間博物館整備構想の検討
- ・組織（団体）との関わり：構成員として会を運営

○組織名（団体名）：常呂川水系水利再編検討会

組織構成：学識経験者、行政、水土里ネットなど農業関係団体など

- ・主な活動内容：水田の畑地化が進む中での効率的・効果的な農業用水の活用、既設農業水利施設の有効活用等の検討
- ・組織（団体）との関わり：構成員として会を運営

※創造運動の活動実態を把握します。

2 1 創造運動の実施方法は様々であり、必ずしも水土里ネットが中心とならなくとも、水土里ネットの役職員等が活動の主体を担う別団体による活動であっても目的は達成できると考えています。特に小規模な水土里ネットで職員等がない場合は、このような形態が十分に想定されます。

V 2 1 創造運動の意味性

1 2 1 創造運動に取り組むに当たって掲げた理念（理由や目的、スローガン等）

～2 1 創造運動を通し「水土里ネットがどうなっていくべきか」思いの丈を記述してください～

地域の財産「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、自己確認・自己変革の取組として、水土里ネット自身が「水」「土」「里」を守り育む組織としての役割を再認識するとともに、時代の要請対応し、水土里ネットに期待される新たな役割・機能を担うための共通認識の醸成を図っていく。また、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の地域資源保全の重要性、水土里ネットの果たしてきた役割、これから果たしていく新たな役割・機能について、地域の理解を醸成していく。

これらの運動を通じて、地域が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、地域の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展することを目指す。

※2 1 創造運動は、内部運動と外部運動を合わせて実施していくこととなっており、これらの取り組みを組織として一体となって取り組むには、取り組む理由や目標の明確な設定が不可欠と考えています。また、「何故この運動に取り組むのか」を意識して取り組むことでより効果の高いものとなります。このため、運動に取り組むにあたっての理念（理由や目的）を記述してください。

2 この理念はどのレベルの会議等で決定されたか

～該当する□を■に置き換えてください。～

水土里ネット総（代）会

水土里ネット理事会

水土里ネット内部（事務局レベル）

3 21 創造運動に対する理念について、地域住民等へのPR状況とその評価（複数回答可）
～該当する□を■に置き換えてください。～

■地域住民からは、水土里ネットの存在・役割が理解され上々の評価を得ている

具体的な内容

各種イベントでは、年々参加者も増え、恒例の地域イベントとして定着しており、水土里ネットも継続して参画していることから、水土里ネットの認知度も大きく向上している。

また、学校教育との連携では、小学校の総合学習「田んぼの学校」を通じて交流が図られているほか、北見工業高校とは平成2年から構造物見学実習を受け入れていることなどから、水土里ネットの役割に対する理解が向上している。

■21 創造運動により近隣の地域へ波及的な効果もあった

具体的な内容

地域全体として農業用水の畑地かんがいや地域用水としての積極的な活用が進むとともに、地域資源の保全に向けた活動組織の立ち上げ、保全計画の策定などが具体化してきており、資源保全に向けた地域住民の理解も得られるなど、地域資源を踏まえた創造運動の効果が現れている。

□まだ変わっていない

具体的な内容： -----

□その他： -----

※ここでは、運動の理念が地域住民や国民に伝わるような取り組みとその評価について伺います。上記の項目以外に効果として考えられるものがあれば、その他に記入してください。

4 持続可能な21 創造運動への取り組み姿勢（無理のない着実な取り組み）

○財源状況（複数回答可）

～該当する□を■に置き換えてください。～

■自主財源 ■他の機関からの支援（補助事業等） □参加費

□その他： -----

1) 自主財源の確保の状況について伺います。（複数回答可）

□予算書に活動費の項目立てをしている（理事会の議題に取り上げている）

■予算には計上していないが、その都度、理事会にかけて支出している

□今後は、自主財源の確保が難しい

2) 他の機関からの支援の状況について伺います。（複数回答可）

■補助事業の期間中は確保されている

■補助事業終了後は、自主財源から支出する予定

□補助事業の終了後は、財源は未定

■他の機関からの支援は当分の間、確保されている

□他の機関からの支援は、継続協議中である

□他の機関からの支援が終了した場合、自主財源から支出する予定

他の機関からの支援が終了した場合、財源は未定
※一時的な取り組みではなく、運動を継続していくことが求められています。その確実性や可能性について把握します。継続する財源をどこに求めているか記入してください。

○関係機関・関係者等との調整（合意形成）

～該当する□を■に置き換えてください。～

■関係機関もしくは関係者等と十分な調整を経たうえで取り組みを開始した

先ず水土里ネットでの取り組みをはじめ、その後関係機関もしくは関係者との調整を行った

水土里ネット独自で取り組み、関係機関・関係者等との調整は特に行っていない

その他： -----

※継続性の確保の観点からは、他機関との連携性が重要と考えます。取り組みにおける他機関等との連携状況をお答え下さい。

5 水土里ネットにおける地域の歴史（先人達の偉業等）や伝統文化などを伝えるような取り組みをしていますか。

また、水土里ネット以外を含め伝統文化を伝える人材はいますか。

～取り組まれている場合は次の内容について記述してください～

1) 取り組み内容

当地域では、農業・農村の持つ豊かな自然・伝統文化など、日本人の原風景を形成してきた多面的機能を再評価し、都市と農村の共生をめざした美しく豊かな田園空間づくりを進める田園空間博物館整備事業「北見端野地区」が平成12年から16年で進められ、自然と人間が織りなしてきた農村の伝統文化や、農村に係わる地域資源「水」「土」「里」に視点を置き、「地域全体が博物館」として伝統的農業施設や美しい農村景観の保全・復元などを行っている。

2) 人材活用（どのような人材を活用しているか記述）

学識経験者、行政、水土里ネットなど農業関係団体、地域住民などで構成する北見端野地区田園空間博物館整備委員会を立ち上げ、田園空間博物館整備構想の検討を進めた。

※歴史・伝統文化については、地域固有のものであり、これを理解し、後世へと伝えていくことは地域に根ざした取り組みを目指している水土里ネットにとって重要なことと考えます。よって、歴史や伝統文化に対する取り組み内容と活用した人材を記述してください。

6 農業振興を含めた本来業務にかかる活動に取り組んでいますか。（複数回答可）

～該当する□を■に置き換えてください。～

■土地利用調整 ■水利用調整 ■情報収集及び提供 直売所等への関与

■営農支援 実証栽培 土づくり ■環境保全型農業の推進

営農指導 その他： -----

その他： -----

※水土里ネットにとって、地域農業の振興は必要不可欠な事項です。農業振興への特段の取り組みについて把握します。

7 事業や運動などで、他に先駆けて取り組んだものについて伺います。下記の項目に該当するものがある場合は、記述してください。

1) 21 創造運動に対する先駆性

具体的な内容

北海道においては水田の畑地化が大きな課題であり、このような中で、農業用水の畑地かんがいや地域用水としての活用は、道内としても先駆的な取り組みであり、道内水土里ネットのモデル的な役割を果たしている。

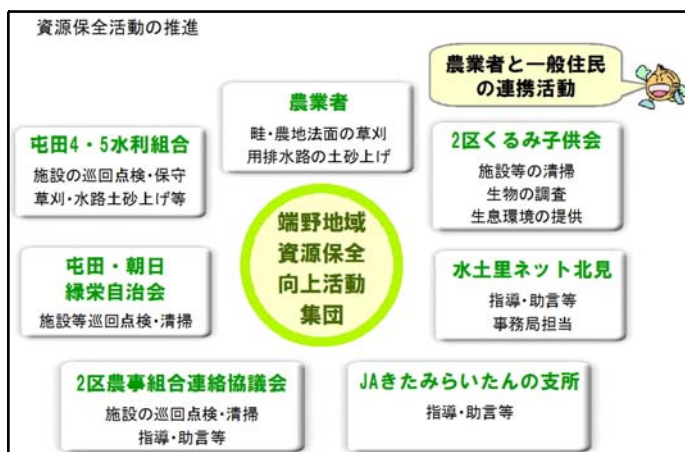
また、学校教育との連携では平成2年から北見工業高校の構造物見学実習を受け入れるなど、創造運動の取り組み以前から水土里ネットの役割等についてPR活動に取り組んでいる。

2) 農地・水・環境保全向上対策や地域水田農業ビジョンなど事業や施策に対する先駆性

① 農地・水・環境保全向上対策

平成19年度からの農地・水・環境保全向上対策の導入に向けて、組合員をはじめ地域住民などに地域資源の保全の重要性などを積極的にPR。水土里ネット北見の下部組織として18の水利組合がある。都市化混住化が進んでいる地区が1地区と「端野地域資源保全向上活動集団」として439haを対象とした活動組織を立ち上げた地区。この2地区を除いた16地区について今後の活動組織の立ち上げを目標にしている。このうち5地区で構想・検討が進められているなど、組合員をはじめ自治会、子供会などの多様な参画を得た活動計画が検討されている。

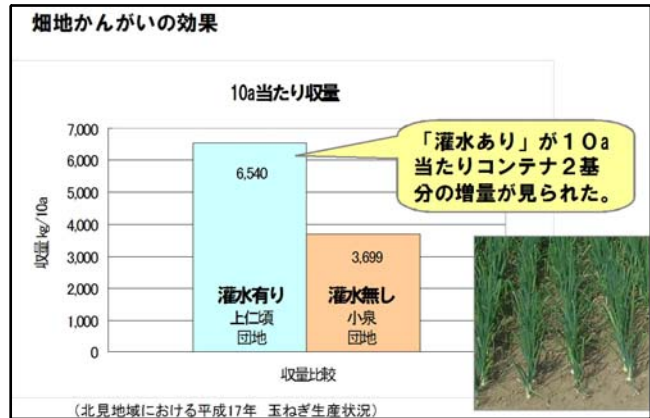
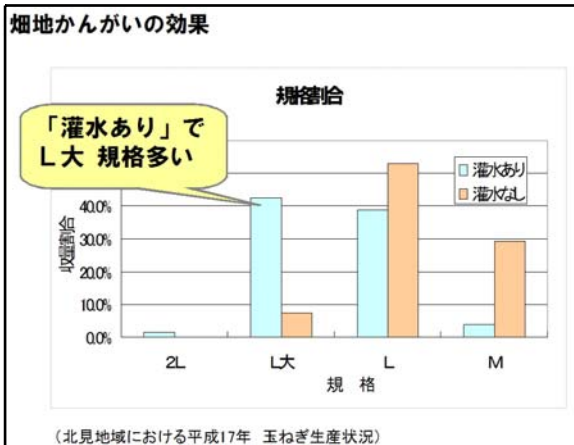
水土里ネットでは、活動組織の立ち上げ、保全計画の策定などに対し積極的に助言、支援を行っており、「端野地域資源保全向上活動集団」の事務局を水土里ネットが担うこととなっている。



② 地域水田農業ビジョン

当地域では、道内における水田の畑地化が大きな課題となっている中で、農業用水の畑地かんがいや地域用水としての効率的・効果的な活用促進は道内でも先駆的な取組であり、道内水土里ネットのモデル的な役割を果たしている。北見市の地域水田農業ビジョンにおいても、水田の畑地化の一層の推進が掲げられており、地域農業者からの要請に応えるためにも、畑地かんがいの積極的な推進を図っている。

今や当地域が日本一の玉ねぎ産地として発展した背景には、畑地かんがいが生産性向上に大きな効果を発揮しており、これまでの水土里ネットの役割は非常に大きい。



VI 2 1 創造運動の継続性・発展性

1 IIIの「2 1 創造運動の実績」で述べた活動について、これまでの活動の内容と、今後の予定について活動毎に記述してください。

◆活動名：土地改良区活性化構想の策定

○活動の展開と拡充内容：

水土里ネットとして今後進むべき方向について取りまとめた土地改良区活性化構想に基づき、創造運動においても、組合員への理解促進を図るとともに、地域住民など多様な人々との連携のもと、役職員一丸となって構造の実現に取り組んでいる。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数（検討委員会等）（単位：人）

年度	運動に係るスタッフ（延べ10回）							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 (土地ほか)	ボランティア	組合員	一般	学 生	計
15	20	25	20	80	15	40					
16	20	25	20	80	15	40					

○今後の予定：

活性化構想の実現に向けて、創造運動等の取り組みの一層の強化を図っていく。

◆活動名：いもほり体験会の開催（関係機関、団体等との連携）

○活動の展開と拡充内容：

昭和63年から継続して実施しており、毎年内容を変えながら地域恒例のイベントとして定着している。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数（単位：人）

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組合員	一般	学 生 (小中)	計
13	10	5	5	5	5				50	50	100
14	10	10	20	10	10				200	200	400
15	10	20	20	20	10				200	200	400
16	10	20	20	20	10				300	300	600
17	10	20	20	20	10				300	300	600

○今後の予定：

関係機関、団体等との連携を一層強化し、体験内容に工夫を凝らすとともに、一層の水土里ネットのPRを継続して進めていく。

◆活動名：「カレーライスマラソン」の開催（関係機関、団体等との連携）

○活動の展開と拡充内容：

平成14年から水土里ネットも参画しており、近年はマラソンコース周辺の景観整備なども行っている。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組員	行政	JA	他団体 (商工会など)	ボランティア	組員	一般	学 生 (小中高大)	計
14	3	10	5	50	10	10			600	200	800
15	5	20	10	80	10	10			700	200	900
16	10	20	10	80	10	10			700	250	950
17	10	20	10	80	10	10			750	250	1,000

○今後の予定：

関係機関、団体等との連携を一層強化し、内容に工夫を凝らすとともに、一層の水土里ネットのPRを継続して進めていく。

◆活動名：ウォーキング「でっかいどうオホーツクマーチ」に協力

○活動の展開と拡充内容：

平成17年度単年度の取り組み。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組員	一般	学 生 ()	計
17	5	10							2,000		2,000

注) 学生の () は小学生を (小) 中学生を (中) 高校生を (高) 大学生を (大) と記入します。

○今後の予定：

平成18年度も平成17年度に引き続き水土里ネットの管理用道路等を利用したコースで開催されることから、水土里ネットとしても、北見の農業を知ってもらえる良い機会ととらえ、開催に対し全面的に協力していきたいと考えている。

◆活動名：地域農業者グループの農業体験会に協力

○活動の展開と拡充内容：

平成17年から水土里ネットも協力。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組員	行政	JA	他団体 (グループ)	ボランティア	組員	一般	学 生 (小)	計
17	2	5	5			10			15	15	30

○今後の予定：

18年度以降も継続して協力することとし、これらの活動を通じてグループとの連携を図り、地域における資源保全活動につなげていきたいと考えている。

◆活動名：ダム管理用地への植樹、清掃活動（地域住民等との連携）

○活動の展開と拡充内容：

地域住民等に参加を呼びかけて、ダム周辺の植樹や清掃活動を定期的に行っている。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組合員	一般	学 生 ()	計
13	4	10		6				10	20		30
14	4	10		6				10	20		30
15	4	10		6				10	20		30
16	4	10		6				10	40		50
17	4	10		10				20	40		60

○今後の予定：

平成17年度にダム湖百選に認定されたことを契機に、一層地域に親しまれ地域の財産として保全していくため、地域住民等広く参加を呼びかけながら継続して取り組んでいくこととしている。

◆活動名：JICAの農業研修に協力

○活動の展開と拡充内容：

畑地かんがいの取り組み、事業効果などを紹介している。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組合員	一般	学 生 ()	計
14	2	4		3					4		4
17	2	4		3					15		15

○今後の予定：

要請に応じて対応する。

◆活動名：小学校の総合学習「田んぼの学校」開催

○活動の展開と拡充内容：

北見市内の小学校の総合学習として「田んぼの学校」を提案。平成14年から1校、17年から3校の総合学習で、田植え体験、稲刈り体験に全面的に協力している。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ（延べ1回）							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組合員	一般	学 生 (小)	計
14	2	10	4	2	2					60	60
15	2	10	4	2	2					60	60
16	2	10	4	2	2					60	60
17	6	30	12	6	6					150	150

○今後の予定：

学校やP T Aからも継続的な協力の依頼を受けていることから、今後メニューも工夫を凝らしながら継続して協力していくとともに、18年度の田んぼの学校では、父母の参加・協力も得ている。

◆活動名：子ども絵画展の参加募集を通じた小学校との連携

○活動の展開と拡充内容：

田んぼの学校などの協力を通じて、全国水土里ネット等が主催する「田んぼと水子ども絵画展」の作品保集を行い、学校や子どもたちとの一層の交流促進を図っている。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ (延べ1回)							参加者			
	役員	職員	組員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組員	一般	学 生 (小)	計
14	3	6								20	20
15	3	6								20	20
16	3	6								25	25
17	3	6								25	25

○今後の予定：

学校や子どもたちとの一層の交流促進を図るため、継続して実施することとしている。

◆活動名：小学校の社会科見学「農業水利施設見学会」開催

○活動の展開と拡充内容：

田んぼの学校などを通じた小学校との交流をきっかけに、学校から社会科見学の受入・協力の要請があり、水土里ネットでは平成14年から相内小学校5年生の社会科見学で、水土里ネットが管理するダムや頭首工に子どもたちを案内し、農業用水や農業水利施設の役割などを紹介している。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ (延べ1回)							参加者			
	役員	職員	組員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組員	一般	学 生 (小)	計
14	2	2								25	25
15	2	4								25	25
16	2	4								25	25
17	2	4								25	25

○今後の予定：

平成18年度からは、田んぼの学校に参加している2校からの協力依頼もあり、積極的に受け入れることとしている。

◆活動名：工業高校の構造物見学を開催

○活動の展開と拡充内容：

平成2年から、道立北見工業高校の構造物見学実習に協力。毎年、建設科1年生を富里ダムに案内し、水土里ネットの職員がダムの構造、施設の目的、水管理体制などを紹介している。

年度別準備から実施日までの延べ人員と参加者数 (単位：人)

年度	運動に係るスタッフ (延べ1回)							参加者			
	役員	職員	組合員	行政	JA	他団体 ()	ボランティア	組合員	一般	学 生 (高)	計
14	3	4								40	40
15	3	4								40	40
16	3	4								40	40
17	3	4								40	40

○今後の予定：継続して協力することとしている。

※2 1 創造運動は、一時的な活動ではなく、今後継続的につづけていくべき息の長い運動です。このため、一定の目標を持って計画的に段階を経て実施していくことが望まれます。これまでに取り組んだ活動内容を記述し、各年度における準備から実施までの延べ人員（回数）と参加者数を可能な範囲で記入してください。

また、今後の予定については、運動の更なる拡充の取り組み予定があれば記述してください。

2 21創造運動の更なる拡大について伺います。現在の活動以外に取り組む予定があれば記述してください。

1) 今後の計画

土地改良区の活性化構想を基に

- ①「水づくり」…水土里ネット本来の役割である地域農業に貢献する用水管理、用水施設の適正化
- ②「土づくり」…地域農業の振興方策や農業者の意向など地域の実態に応じた基盤整備とそれを進めるための関係機関との連携
- ③「人づくり」…水土里ネットや農村地域資源の役割に対する理解の促進を図る活動を行うとともに、地域資源と農業者、地域住民とのネットワークの形成の実現に向け、現在取り組んでいる活動を継続していくこととしている。

現在、創造運動の活動経費は、水土里ネットの財政状況から最小限度に抑え、その活動はほとんど手作りで自ら汗を流して取り組んでいる。

今後も無理のない活動、身の丈に合った活動を進めることとし、息の長いものとしていきたいと考えている。

特に今後は、資源保全活動の円滑な推進と、水田の畑地化推進に向けた地域農業振興を進めることとしている。

※ここでは、21 創造運動の理念に基づき運動が計画性をもって行われているかを確認します。
そのために、運動の更なる拡大があれば計画や運動目標及び年次計画などを記述してください。

2) この計画や目標などはどのレベルの会議等で決定されたか

～該当する□を■に置き換えてください。～

水土里ネット総（代）会

水土里ネット理事会

水土里ネット内部（事務局レベル）

その他： -----

3 21 創造運動の実践により水土里ネットにもたらされたもの（複数回答可）

運動の成果が着実に現れているか伺います。～該当する□を■に置き換えてください。～

地域の一般住民等からの問い合わせ等が増えた

水土里ネットへの就職希望者（問い合わせ）が増えた

自治会等地域の各種会議・会合等の参加案内が増えた

行政機関から各種委員会等の委員の依頼、会議の参加案内が増えた

地域住民による水路の草刈り等の作業参加者が増えてきた

組合員の賦役の参加率が向上した

行政から運動に対する人的支援が増加した

行政から新たな財源支援の確保や財源支援が増加した

他市町村や他の水土里ネットさらには他地域の一般住民等からの視察が増加した

以前と変わっていない

その他： -----

VII 2 1 創造運動の連携性

1 関係機関との連携（（ ）内の1から8に○をつけてください。複数回答可）

関係機関名	連携の状況	連携の内容
・町内会等自治会	(1) <input checked="" type="radio"/> 2 3 4)	(5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・NPO	(1 2) <input checked="" type="radio"/> 3 4)	(5 6 7 8)
・教育機関	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) 6 7 8)
・マスコミ	(1) <input checked="" type="radio"/> 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) 6 7 8)
・農協	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・市町村	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・都道府県水土里社ト	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・都道府県	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・国	<input checked="" type="radio"/> (1) 2 3 4)	<input checked="" type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)
・その他（研究機関）	(1) <input checked="" type="radio"/> 2 3 4)	(5) <input checked="" type="radio"/> 6 7 8)

◇ 連携の状況

1. 積極的に連携できた
2. 一定の協力が得られた
3. 今回は連携出来なかったが
今後は可能性がある
4. 全くない

◇ 連携の内容

5. 共催、協賛、後援
6. 活動計画樹立の助言を得る
7. 人材派遣
8. 資金援助

※2 1 創造運動における関係機関等との連携については、V-5「運動の意義性」における「関係機関・関係者等との調整」において把握しますが、ここでは、より具体的な連携の状況について把握します。

2 2 1 創造運動がマスコミに取り上げられたことがありますか（新聞、TV、ラジオ等）

～該当する□を■に置き換えてください。～

■ある（いつ：平成17年、何に：新聞に取り上げられた。）

①マスコミに取り上げられるためにどんな努力をしましたか。

イベントや田んぼの学校、植樹活動など、創造運動の活動を地元新聞社等に積極的に情報提供している。これらを通じて、地域住民に資源保全の理解促進を図り、活動の輪を広げていくことを目指している。

②その結果マスコミとのパイプは出来ましたか。

富里ダムがダム湖百選に認定されたことを新聞でも大きく取り上げてもらうなど、水土里ネットの様々な活動についての情報提供により記事として掲載されるようになった。

資料等提供したが取り上げられなかった

ない → 接触の方法がわからず働きかけが出来なかった

これといった働きかけはしていない

その他：-----

富里湖ダム湖百選に

認定プレート取り付け

財団法人ダム水源整備 見
 境整備センター(東京) まれるダム湖を目標として
 の「ダム湖百選」に選ばれる。景観が好ま
 れた北見市富里の富里湖 しいか、歴史的な価値が
 (富里ダム)で六日、同 あるかなど八項目の基準
 法人から贈られていた認 に沿って三月、全国のダ
 定プレートの取り付け作 ム湖の中から第一次分
 業が行われた。 として六十五カ所を選定
 同法人は、地域に親し 認定プレートを贈った。



富里湖前で「ダム湖百選」の認定プレートを取り付ける関係者たち

富里ダムは一九八七年に完成。市内仁頃地区な

ど下流域約二百戸に農業 見
 用水を提供することも 農業事務所所長の工藤建治
 に、周辺にはキャンプ場 所長、北見土地改良区
 や遊歩道も整備。市民の 古田幹雄理事長、川崎英
 勝市助役の三人が、プレ 勝市助役の三人が、プレ
 ートの取り付け作業に ートの取り付け作業に

取り付けた。川崎助役は

「認定を契機として適 切な管理に努め、多くの
 市民に活用されるようP Rしたい」と話していた。
 (大藤聡)

田っやちえち苗

北見「小泉食農体験団」今年も田植え体験



北見「小泉食農体験 ①
 団」の子も遠が? ②
 回目の田植え体験 昨年の田植え体験
 昨年植えた米は豊作と になり、たつぷりお腹に
 入ったためか、引き続 ③
 き参加した子ども達も 植える手にも力が入る
 田植え初体験の子も 田植え初体験の子も
 も達も、てきぱき作業 泥に足を取られて尻も
 泥に足を取られて尻も ちをついてしまう子も
 ちをついてしまう子も いたが、子ども達は父
 母に見せながら、取 母に見せながら、取
 取種を指して苗を植 えた(写真1)。

水田から出て来た子 ④
 さに悲鳴をあげなが、 足の手足は泥だら ⑤
 け(写真2)、水の冷た ⑥
 け(写真3)。

「食」と「農」を学ぼう「田植えって楽しいね！」



北見「小泉食農体験団」今年活動スタート

子ども達に農作物の ①
 栽培や収穫、調理を体 泉の水田で今季の活動
 験してもらおう「小泉食 ②
 をスタートさせた。子 ども達は手足を泥だら
 農体験団(市田啓一団 ③
 長)が11日、北見市小 泉の水田で今季の活動
 験してもらおう「小泉食 ④
 をスタートさせた。子 ども達は手足を泥だら

子ども代表 柴田康平くん



小泉食農体 ①
 験団の今年度 ②
 の子ども代表 柴田康平くん(小 泉小6年)は、
 昨年初めての参加 ③
 「収穫して食べるのが楽しみ」
 2回目となっ ④
 た田植えは「水 ⑤
 の冷たさにも慣 ⑥
 れ、大丈夫。去 ⑦
 年よりいっぱい ⑧
 植えられたと思 ⑨
 うかがわせた。 ⑩
 田植えを終え、 ⑪
 「また収穫し、 ⑫
 新米が食べられ ⑬
 るのが嬉しい」 ⑭
 とすっ ⑮
 かり農業の ⑯
 魅力に魅せ ⑰
 られていた。

※ここでは、創造運動において重要と考えています情報発信の状況について把握します。創造運動は、地域に広く情報発信することで水土里ネットや農業・農村整備等について理解を求めることが肝要です。マスコミには積極的に情報を発信することが望まれます。

3 マスコミの他、21創造運動（各種活動）の情報提供方法（複数回答可）

～該当する□を■に置き換えてください。～

- 水土里ネットでホームページを開設している
- 都道府県水土里ネットのホームページに掲載している
- 定期的に情報誌を作成している
- 水土里ネット事務所等の掲示板に貼りだしている
- 市町村の発行する情報誌に記載している
- チラシ等を作成し配布している（対象： ）
- 特に情報発信はしていない
- その他：地域の大切な文化や財産などをテーマとした北見信用金庫が作成するカレンダーに、当水土里ネットが管理する常呂川第2頭首工の写真を提供し、地域農業に欠かすことのできない農業用水や施設の多面的な役割などをPRした。
同信金では、毎年テーマを決めてカレンダー写真を公募しており、2005年は「橋」がテーマとなった。

このことから、地域住民の歩行者通路、通学路としての役割も果たしている、常呂川にかかる「常呂川第2頭首工」の写真とともに、地域農業にとって欠かすことのできないこの施設の大きな役割などを情報提供し、実現したもの。このカレンダーは2万8千部作成されて広く道内に配布されたことから、大きなPR効果が得られた。



※地域住民や国民に対しての情報発信は、マスコミへの情報提供のほかにも様々な手段があります。ここでは、水土里ネットが取り組んでいる各種情報発信の方法を把握します。

VIII その他特記事項

○最後に21創造運動の推進に当たりご意見ご要望があれば記述してください。

当水土里ネットは、平成元年の2つの水土里ネットの合併を機に、関係機関はもとより地域農業者の意向をもとに、従来の水田かんがい施設の維持管理に加えて、畑地かんがい施設の維持管理や土地改良事業実施地区の編入など、地域の要請、時代の要請に対応して水土里ネットの役割を發揮してきた。

このような中で、国においては、平成19年度から農地・農業用水等の資源保全施策を導入するが、この施策の円滑な推進のためには、それぞれの地域で水土里ネットが核となって、その役割を果たしていかなければならない。

この施策を円滑に推進するためには、広く国民に対し、農業・農村の多面的機能に対する理解を求め、特に、食料の安定供給を確保するための農地・農業用水等の資源を適切に保全していくことの必要性を強力にPRしていくことが必要である。

当水土里ネットとしても、21創造運動に積極的な取り組みを通じて、地域住民等の理解が得られ、多様な主体が参画する資源保全活動が推進されるよう、地域における中心的な役割を担っていきたいと考えている。

IX その他

1 中央選考委員会へ推薦された場合の水土里ネットの問い合わせ先

水土里ネット北見

担当者：大黒谷 甲 三	所属・職名 参事	電話番号：0157-23-7468
門 田 和 彦	所属・職名 総務係長	

水土里ネット北海道

担当者：本 間 勤	所属・職名 企画広報G主幹	電話番号：011-221-2292
-----------	---------------	-------------------